

2026 年 8 月 23 日 (日)
SUPER GT 第 5 戦 決勝
鈴鹿サーキット

決勝結果

12 位

決勝概要

- ・スタートを担当した大草はタイヤのウォームアップに苦しみ、1 周目に 2 台にかわされて 4 番手に後退
- ・ピットイン後も状況は大きく変わらず、フラガも苦しい展開が続き、10 位でチェッカー
- ・レース後、危険なドライブ行為によるペナルティで 40 秒加算となり、最終結果は 12 位

コメント

代表：中嶋 悟

「暑いなかでの厳しいレースとなりましたが、途中までは何とか食らいついていける感触もありました。ですが、後半は本当に苦しい展開となってしまいました。残りのレースも少なくなってきましたが、気持ちを切り替えて次戦に向けて頑張っていきます。今大会もたくさんのご声援をありがとうございました」

監督：伊沢 拓也

「スタートからゴールまでを通して見たときに、僕らには勝つ力がなく、そのなかで小

さなミス等があって、一気に零れ落ちて行ってしまいました。最後は接触によるペナルティを受けることになり、昨日とは打って変わって辛い一日になりましたが、レースペースという面ではしっかり戦えるところがありましたし、そういう時間も長かったと捉えています。良かった点、悪かった点をしっかりと見直して、次戦取り返すしかないと思っているので、引き続き頑張っていきます」

大草 りき

「想定していたよりタイヤのウォームアップが厳しかったです。温まってからのペースに関しても、悪くはないけれど、周りに対して大きく勝っているわけでもなかったの、トータルで考えたときにウォームアップの分で負けてしまっていました。要因はいろいろあると思いますが、ウォームアップさえ良ければ戦えた印象はありますし、成長できている部分も感じられたので、次戦に向けて課題を改善できるよう、ダンロップとともに戦っていきたいです」

イゴール・オオムラ・フラガ

「辛いです。パフォーマンスは、悪くはなかったと思いますが、タイヤのウォームアップで苦戦していました。大草選手もそこで苦しそうでしたし、僕が入るタイミングでは、完全なコールドタイヤから温めていかななくてはならないので、そこでのタイムロスが大きかったです。終盤はGT300車両との接触もありノーポイントで終わってしまったのが本当に辛く、悔しいです。52号車のチームの皆さんには、ご迷惑をかけてしまい申し訳なく思っています。本当に辛く、悔しい1日になってしまいましたが、次戦に向けて何とか気持ちを切り替え、自分なりにできることをやり切って、万全の体制で挑めるようにしたいです」

※次戦は9月19日・20日にスポーツランド SUGO で開催されます。